

平成25年度 第1回大和市総合計画審議会 会議録

- 1 日 時 平成25年4月19日（金） 午前10時00分～11時45分
- 2 場 所 大和市役所5階 全員協議会室
- 3 出席者 委員11名（池田、伊知地、川渕、杉下、関水、田中(孝)、田中(寛)、豊田、仲、中林、長谷川）
- 4 傍聴人 2名
- 5 次 第
 - 1 開 会
 - 2 議 事
 - （1）後期基本計画策定における答申（案）について
 - 3 その他
 - 次回開催日程 ほか
- 6 会議資料
 - 資料1：後期基本計画策定における答申（案）

【議 事】

- 会長 ： それでは、「後期基本計画策定における答申（案）」に係る本文と別紙について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 ： 本文と別紙について説明
- 会長 ： 意見、質問等はあるか。
- 委員 ： 別紙の「5めざす成果と指標、主な取り組みについて」の3つ目に「主な取り組みについては、新規の取り組みや充実していく事業などを中心に、具体的な内容を記述してください」とあるが、これまでの審議会の中で、効果の出ていない事業などについて、廃止や見直しの意見が出ていたと思うが、答申案に盛り込めていないのではないか。
- 事務局 ： 主な取り組みは、取り組み方針を具体化するものとして、積極的に取り組んでいくもの、継続して取り組んでいくものを中心に整理している。
- 会長 ： 全ての事業について、1件ずつ事業仕分けを行ったわけではないので、マイナス評価の事業ではなく、力を入れたほうがいいのかという意見を中心にまとめている。

-
- 会長 : それでは、「後期基本計画策定における答申（案）」に係る「後期基本計画（案）」について事務局より説明をお願いします。
- 事務局 : 「後期基本計画（案）」について説明
- 会長 : 意見、質問等はあるか。
- 委員 : 全体を通して、今までの審議会の中での意見は取り入れられていると思う。P. 5のめざす成果1の指標を前期計画の肺がん検診の受診率に戻したとのことだが、現状と課題の記載についても、「肺がん」に揃えて記述した方が良いのではないか。
- 事務局 : 肺がん検診以外に子宮がん検診や乳がん検診も受診率があまり伸びていないが、前期計画と同様の肺がん検診の受診率を代表指標としている。現状と課題の記載については、がん検診について総括した記載としている。肺がん以外のがん検診についても受診率の実態が分かるよう、製本時にグラフを入れるなどの検討を行う。
- 委員 : P. 5のめざす成果1の主な取り組みで、保健師による取り組みに力を入れるとの説明があったが、P. 15のめざす成果2の「国民健康保険制度における特定健康診査の受診率」を向上させることにも関連があるではないか。
- 事務局 : P. 15のめざす成果2の主な取り組みの1つ目にもあるように、相互に関係する場合もある。様々な取り組みが関係していると捉えていただきたい。
- 委員 : P. 7のめざす成果2に新たに設定した指標の市立病院における「患者の満足度」については、経常収支比率よりも良いと思う。ただし、患者の満足度は、入院、外来によって傾向に違いがあると思うが、どのように算出しているのか。
- 事務局 : 毎年、市立病院で実施しているアンケートの満足度の項目において、入院患者と外来患者の両者の結果を合せて算出している。
- 会長 : P. 4の現状と課題の3つ目に「検査内容の充実」とあるが、検査の種別充実なのか、それとも手法の充実なのか。
- 事務局 : 文章の意図としては、種別と手法の双方を含めている。
- 委員 : P. 18の取り組み方針の5つ目「学校、家庭、地域が互いに役割を認識し、協力し合いながら子どもの成長を支えます」について、教科活動で括られているが、めざす成果4の主な取り組みの4つ目にもあるように、様々な場面での協力が求められるものであり、学校教育全般の記述とするべきではないか。
- 委員 : 子どもの生きる力を発揮できる環境を整えるのは大人の役割であると審議

- 会の中で発言してきたので、この記述が追加されたのは良いと思う。ただし、学校だけが子どもの過ごす場ではないので、学校教育の記述の並びではなく、学校と地域や家庭の役割が対等であることが分かるようにしたほうが良い。
- 会長：地域との連携については、多様な人とのかかわりを持つ取り組みと並べて記述したほうが良いのではないか。
- 事務局：ご指摘のとおり、教科活動だけでなく、いじめや不登校なども含め広く関わる内容であるため、再度、教育委員会とも調整する。
- 委員：P. 22の取り組み方針の一番下に、「雨天でも子どもが・・・屋内公園」とあるが、「全天候型」などの表現が良いのではないか。また、「子どもが保護者と安全に安心して遊べる」の表現についても併せて精査して欲しい。
- 会長：「屋内公園」は、用語の説明が必要ではないか。「子どもの広場」であれば子ども中心ということが分かるが、「公園」と捉えると子どもだけを対象とすることに違和感がある。
- 事務局：表現については、庁内での合意形成の段階までに精査する。
- 会長：P. 25の指標の3つ目「防災講話の実施団体数」は、民間の団体が防災講話を実施するということか。
- 事務局：市が実施した防災講話を受講した団体数になる。表現について再考する。
- 会長：答申の際に後期基本計画（案）の網掛けはどうなるのか。
- 事務局：網掛けとP. 4の上の四角で囲っている説明部分は、そのまま残す。
- 委員：P. 67の取り組み方針の1つ目「市政情報の発信と情報公開」は、市内、市外を共に意識したシティーセールスに関する記述も入れたほうが良いのではないか。
- 事務局：市内向けの情報発信ということでは、「身近な市政情報について、様々な媒体を用いて積極的に発信し、市民との情報共有化を図ります」の記述で整理している。シティーセールスについては、委員からの意見も踏まえ、P. 60の個別目標7-2で整理している。市民への分かりやすさを考慮し、両方に記述するのではなく、それぞれ書き分けた構成としている。
- 委員：了解した。
- 会長：シティーセールスの用語説明が必要である。
- 委員：P. 35のめざす成果2の指標「ごみ焼却灰の資源化率」について、現状値から見ると目標値が高いように思うが、実現可能なのか。
また、P. 15の目指す成果2の指標「国民健康保険制度における特定健康診査の受診率」の目標値は、国が示している値であると思うが、達成するのは厳しいのではないか。
- 事務局：「ごみ焼却灰の資源化率」は最終的には10割を目指しており、段階的に様々な方策を講じた上での目標として、所管と調整済みの値である。
目標値については、極力実現可能な値になるようにしているが、国の目標

- 値なども考慮した上で掲げないと説明ができないものも一部ある。
- 委員：言葉の使い方や用語の説明については、より市民に分かりやすくなるように精査していただきたい。
- P. 7の脳卒中ケアユニット、P. 24の治水対策、P. 61のヤングキャリアカウンセリング、P. 62のヤマトン、P. 67のマネジメントサイクルなどは、注釈が必要と考える。
- 事務局：治水対策など、注釈を付けることで範囲を狭くしてしまうことも考えられるので、専門用語への注釈については、製本までに所管課と調整しながら検討していきたい。
- 会長：答申案の別紙にも「専門的な用語などの使用にあたっては、注釈を付すなどの工夫を行ってください」とあるが、基本計画としては、用語を含めて市民に内容をよく理解してもらう必要がある。ヤマトンは絵や写真でも良いのではないか。製本までに精査していただきたい。
- 委員：P. 35の目指す成果1の主な取り組みの4つ目に「市の公共施設において、太陽光発電システムの設置を進めます」とあるが、風力発電システムなどもあるのではないか。
- 事務局：太陽光発電システム以外の設備設置の見込みについて、所管課に再度確認する。
- 会長：答申書については、本日の意見を踏まえながら事務局で再度整理し、修正内容の確認については会長一任としていただいて良いか。
- 各委員：了承。

【その他】

- 事務局：次回は7月または8月頃を予定している。日程は改めて調整させていただく。

以 上